

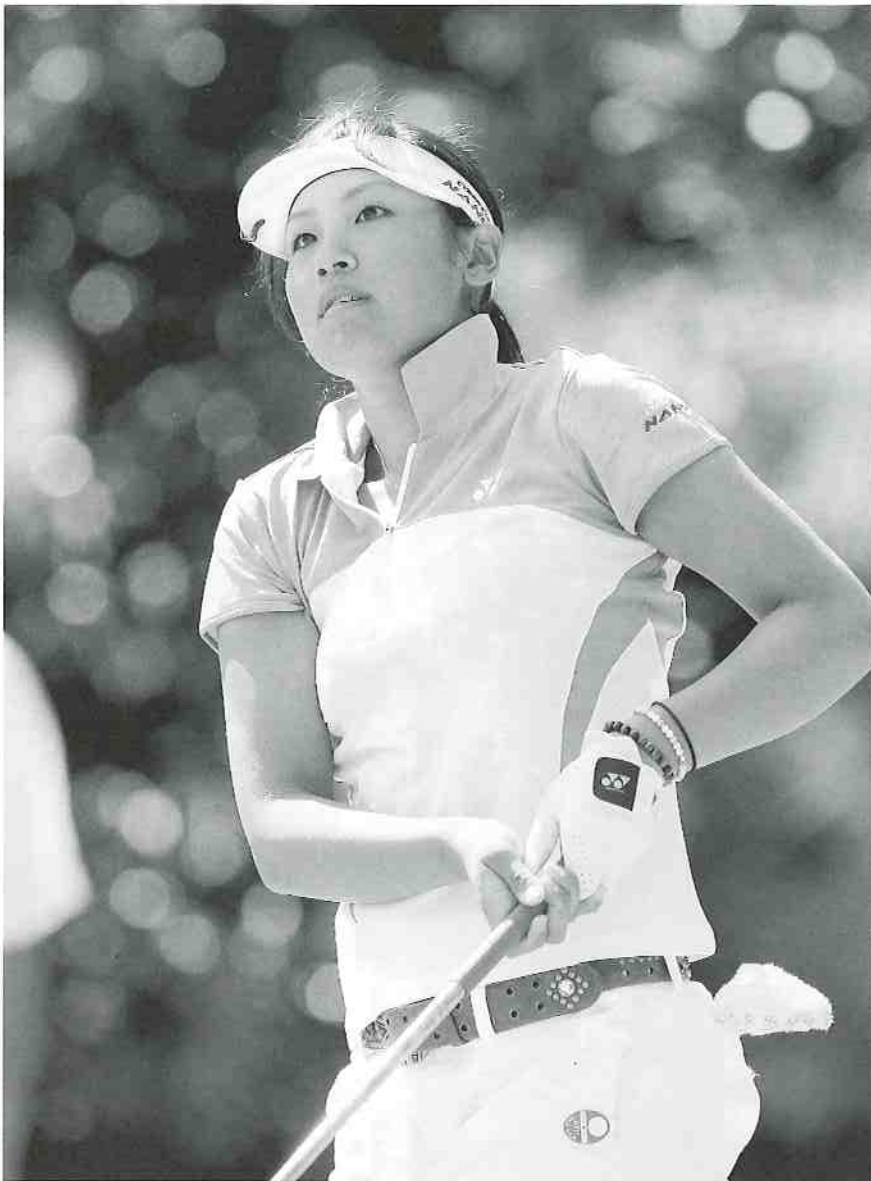


市内保育園・幼稚園児の力作 灯ろう (越後加茂川夏祭り 8月14日)

主な内容

- 加茂市から女子プロゴルファー誕生…… ②
- 全国・世界で活躍するスポーツ選手たち ③
- 第22回越後加茂川夏祭り…………… ④⑤
- コムソモリスク市子ども代表団来市… ⑥⑦
- 第50回加茂市総合体育大会開幕…… ⑧⑨
- やさしい医学「経鼻胃内視鏡検査」…… ⑩
- 加茂の風土記「加茂松坂」…………… ⑫

若林舞衣子選手 新潟県初の女子プロゴルフファーに



ヨネックスレディースゴルフトーナメントでの若林舞衣子プロ

写真提供 ヨネックス株式会社

加茂市在住で、今春、開志学園高等学校を卒業し、プロゴルフファーを目指していた若林舞衣子選手が、日本女子プロゴルフ協会の二〇〇七年度プロテストに合格して、新潟県では初めての女子プロゴルフファーの誕生となりました。

プロテストの最終選考は、七月二十四日から三日間にわたり百四十人余りが出場し、広島県で行われました。

若林選手は、初日に四位タイと好発進したものの、二日目は豪雨で中断、最終日に残りのホールと第三ラウンドを回る厳しい展開となりました。その結果、通算十八位タイとなり、合格した二十二人の一員として見事にプロの座を獲得したものです。

八月六日に、ヨネックスと正式にプロとしての専属契約を結び、東京で記者発表会見が行われました。若林選手は「世界で活躍できるようなプロゴルフファーになって、新潟の名を全国や世界に発信したい」と、今後の抱負を語りました。

地元でのプロデビュー戦となった「ヨネックスレディース」が八月二十四日から三日間、長岡市で行われました。若林選手は、初日二十位タイ、二日目七位タイ、通算では九位タイと健闘し、非凡な将来性を感じさせてくれました。

念願のプロとして、世界に向けて羽ばたきを始めた若林舞衣子選手を加茂市民一同が応援しています。大いなる活躍を祈念してやみません。

加茂市から 全国そして世界で 活躍する選手たち

中央の萱森浩輝選手を激励する小池市長と井上教育長



北信越大会で優勝し、全国大会に出場する新潟経営大学サッカー部



全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会に出場する浅野恵未さん(中央左)と久保瑞稀さん(中央右)

北京オリンピックピックを目指し

世界選手権で上位入賞を狙う

レスリング・萱森浩輝選手

今年、加茂市から、全国大会、世界の舞台に出場する選手が大勢います。

国際大会として、九月にアゼルバイジャン共和国で開催されるレスリング世界選手権に男子フリースタイル七十四kg級に萱森浩輝さん(県央工業高校講師)が出場します。八月にはバンコクでのユニバーシアード競技大会サッカー競技に東口順昭さん(新潟経営大学三年)が日本代表(ゴールキーパー)として出場しました。

国内でも、新潟経営大学サッカー部が総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに出場し、一回戦で強豪の筑波大学を破り、二回戦に進出しました。

佐賀県で開催された全国高校総体(インターハイ)には、加茂高校男子体操部が、陸上競技には女子千六百mリレーに佐野文香さん(新潟明訓高校三年)が出場しています。

また、高知県土佐市での全国高等学校ゴルフ選手権大会に阿部悠さん(八海高校三年)が出場し、福岡県北九州市で開催の全国高等学校少林寺拳法大会に丘山武昭さん(三条東高校二年)と波塚雅広さん(三条東高校三年)の二人が出場しました。

小学生では、七月に福井県で開催された北信越小学生バレーボール大会男子の部に須田ジュニアバレーボールクラブが出場し、東京・辰巳国際水泳場での全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会に浅野恵未さん(加茂小六年)と久保瑞稀さん(加茂南小五年)が出場となりました。

市長から激励された各選手は「県大会、地区大会を突破した勢いで全国大会でも上位入賞を目標にします」と話してくれました。

第22回 越後加茂川夏祭り



保育園・幼稚園児たちの灯ろう流し

今年は猛暑の中での開催

毎年八月十四日に開催される「越後加茂川夏祭り」。今年は、猛暑の中で始まりました。

昼の部は、午後二時からのウキウキ桃釣り大会でスタート。順番を待つ行列ができ、流れる桃を釣り上げると大きな歓声が上がっていました。並んで待っている子どもたちからは、「今年は川の流れがゆっくりだからすぐに釣り上げられそう」と楽しそうな声が聞かれました。

桃釣り大会のお菓子が少なくなってきたところ、対岸ではもう一つの人気イベント「ユニボキャッチャー」の始まりを待つ子どもたちの行列が長くなっていました。ふだん、乗ることのない本物の小型建設機械に乗ることを楽しみにしていた子どもがたくさんいました。お菓子のバケツを引き上げて、運転席から降りてきた子どもたちは「もっと操縦したい」「今度はクレーン車に乗ってみたい」と声を弾ませて喜んでいました。

会場内には、手づくりゲームとして「バケツビンゴ」「ヨーヨー釣り」「落書きコーナー」や「福



会場を囲む大盆踊り



今年も大人気・ユニボキャッチャー



夜空を彩る大花火



御神輿とよさこいの共演



水ふうせん釣り



猛暑の中、子どもたちは水遊び



夕日コンサート

まき」でにぎわっていました。夕日コンサートには、加茂市出身のトモヒコによる「ヘビールーパーズ・セッション」が登場し、ライブが行われました。

夕方からは、市内の保育園・幼稚園児が作った灯ろうが川面をゆつくりと流れていきました。日が暮れてから、地元よさこいチーム「あつてねえ」と「よさこいにつぼん新潟 響」「田上 Go 摩童」による演舞と江戸みこしが競演し、河川敷の舞台が熱気に包まれました。

そして、加茂川の右岸・左岸を仮橋で囲む大きな加茂松坂を踊る盆踊りの輪ができ、会場周辺は大勢の人でにぎわいました。飛び入り参加や踊っている友達に誘われて輪に加わる人たちも大勢いました。

大盆踊りが終わると栄橋から諏訪橋間の噴水花火で大花火大会が始まりました。超大スターマイン、二尺玉五連発打ち上げ、最後に昭和橋からJR鉄橋まで二キロメートルの大ナイアガラ花火で幕を閉じました。



目の前を流れる大ナイアガラ花火



ウキウキ桃釣り大会にも長い行列

畳の上の生活はとっても快適



コムソモリスク市子ども代表団 8日間の交流

七月十三日から二十日までの八日間、加茂市と交流しているロシアのコムソモリスク・ナ・アムーレ市から、子ども代表団が来市しました。滞在中、代表団の皆さんは市内の保育園、小・中学校、施設への訪問とホームステイで日本の生活を体験できました。

子ども代表団はコムソモリスク市副市長のユーリー・ロゼンツェフさんを団長に十四歳から十七歳までの生徒たちと引率の学校長など十六名です。

十七日の市役所表敬に訪れた代表団は、加茂市へのおみやげとして民族衣装をあしらったパネルを小池市長に手渡し、一層の交流を握手を交わしました。代表団の



ロゼンツェフ団長と小池市長

子どもたちは、ホームステイでの出来事や日本の生活について話してくれました。そこで前日の中越沖地震には初めて体験する大きな地震に「びっくりした」そうですが、ホストファミリーや周囲の人が落ち着いていたので「驚いた」と感想を話してくれました。



コムソモリスク市代表団の皆さん

若宮中学校で授業を体験



加茂小学校(上)と芝野保育園(下)



美人の湯でリラックス



なれない毛筆で漢字に挑戦

市内での学校訪問では、七谷中学校、若宮中学校、加茂小学校で習字や剣道、授業を体験しました。卓球や腕相撲では、言葉は通じなくても白熱した試合になったようです。

第二平成園を訪問した際には、団長のロゼンツェフさんが「コムソモリスク市も高齢者介護が大きな課題になりつつあります。運営やスタッフについても関心があります」と話していました。

歓迎パーティーでは、先にホームステイしたホストファミリーといっしょにテーブルを囲み、日本の食べ物や生活、趣味、音楽の話題をカタコトの英語・日本語・ロシア語で盛り上がっていました。通訳のエレーナさんから感想を聞いてもらおうと「靴を脱いで畳の上

コムソモリスク市 子ども代表団来市日程

- 13日(金) 新潟空港から加茂市へ
- 14日(土) マリンピア日本海、県立植物園、加茂美人の湯を見学
- 15日(日) 民俗資料館見学、市内でホームステイ
- 16日(月) ホームステイ
- 17日(火) 市役所表敬訪問、第二平成園、七谷中学校訪問
歓迎パーティー
- 18日(水) 芝野保育園、若宮中学校訪問
温水プール、体操トレーニングセンター見学
- 19日(木) 加茂小学校訪問 シーサイドラインを見学
- 20日(金) 加茂駅前でお別れ 新潟空港から帰国

の生活も、慣れてしまえば快適」とのこと。ホームステイや美人の湯の大浴場がとても印象的だったとのこと。

加茂市とコムソモリスク市との交流も十六年目となりました。相互交流が重なる中で、子どもたちには国際化を直接肌で感じる機会になったのではないのでしょうか。



民俗資料館で昔の民具を着用

体操器具に夢中



産業センター展示場で桐たんすを見学

第50回 加茂市総合体育大会開幕

七月二十七日、第五十回を迎える加茂市総合体育大会の総合開会式が文化会館で行われました。会場では、各競技の出場団体の入場行進が始まり、加茂市体育協会から体育功労者・優秀指導者・優秀競技者への表彰がありました。また、ジュニア選手から大会が技術向上の機会となるよう抱負を発表してもらいました。表彰された皆さんは次のとおりです。(敬称略)



【体育功労者章】▼鈴木裕子(加茂市バレーボール協会において生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼佐藤恵子(加茂市バレーボール協会において生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼中野美砂子(加茂市バレーボール協会に

おいて生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼小林昇(加茂スキークラブにおいて生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼志田正弘(加茂スキークラブにおいて選手育成と競技会運営に尽力)▼有本ナヲ(加茂市ゲートボール協会において生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼栢森春(加茂市ゲートボール協会において生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼五十嵐寅平(加茂市ゲートボール協会において生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼時田ミヨ(加茂市ゲートボール協会において生涯スポーツへの取り組みに尽力)▼牛腸カズ子(加茂山岳会において生涯スポーツへの取り組みに尽力)

【優秀指導者章】▼笹川武人(加茂アークコミュニティにおいて選手育成に尽力)

【優秀競技者章(団体)】▼須田ジュニアバレーボールクラブ(全日本バレーボール小学生大会新潟県大会第三位)▼つかさクラブ(全国ママさんバレーボール大会新潟県予選会第三位)▼葵中学校男子体操部(県中学校体操競技大会団体総合優勝)▼県立加茂高等学校男子体操部(県高校総体・体操



競技大会団体総合優勝)▼新潟経営大学サッカー部(全日本大学サッカートーナメント北信越大会優勝)

【優秀競技者章(個人)】▼酒井高喜(県高校総体・柔道大会男子九〇kg級優勝)▼佐野文香(県高校総体・陸上競技大会女子四百mリレー第二位)

▼鷲尾夏季(県空手道選手権大会女子個人組手優勝)▼相田春香(県小学生選手権水泳競技大会女子百m自由形一位)▼浅野恵未(全国JOCジュニア

オリンピック夏季水泳競技大会県予選会女子五十m平泳ぎ二位)▼有本隆寛(全国小学校体操競技大会出場)▼金子健三(県体操競技選手権大会高校生の部個人総合二位)▼高野雄貴(県体操競技選手権大会中学生の部個人総合優勝)▼川口正

太郎(県体操競技選手権大会中学生の部あん馬一位)▼高野耕平(県体操競技選手権大会高校生の部個人総合優勝)▼船久保洋平(県高校総体・体操競技大会個人総合優勝)▼近藤拓也(県体操競技選手権大会高校生の部鉄棒一位)▼鈴木大(県高校総体・体操競技大会跳馬二位)

総体結果



硬式テニス (ダブルス)

期日 7月22日

会場 市営庭球場(駒岡)

【Aクラス】▼男子①袴田敏尚・片岡謙作(ローン)②長谷川弘良・中島昭

(同)③田中健司・牛腸実(グレイト)▼女子①志田美津子・中山佐和子(グレイト・シテイサークル)②吉沢

恵美子・広川雅美(グレイト・フリー)③中島美和子・山崎紀子(ローン)

【Bクラス】▼男子①瀧澤智弘・野澤貴宏(加茂高)②安田浩・河野循一(KIT)③本間琢也・佐野克巳(加茂農

林高)▼女子①村木由佳・渡辺梓(加茂高)②船久保友梨・永井麻理(同)

③渡辺真弓・横山美鈴(KIT)

【Cクラス】▼女子①岡村沙織・桑原

知重紀(加茂高) ②近藤華子・川崎麻里(同) ③市川瞳・小池あかね(同)



登山

期日 8月4・5日

会場 燕岳(つばくろだけ・標高二七六三m・北アルプス)

※登山には一般参加者三十名と山岳会指導者などが参加して行われました。



水泳

期日 8月5日

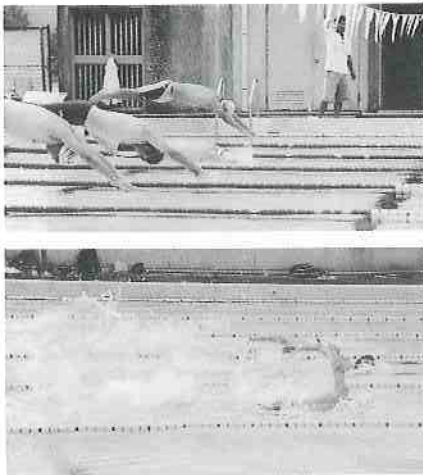
会場 市民プール

※選手の所属のうち、加茂アクアコミュニティを「ACC」、加茂スイーパーペンギンを「SP」で掲載しました。

【小学生男子】▼50m自由形①嶋倉涼38秒1(ACC) ②石原佳明(同) ③藤田恒希(石川小)▼50m平泳ぎ①藤田恒希57秒0 ②大橋群(石川小) ③種橋利太(同)▼50m背泳ぎ①石原佳明48秒9 ②江口達也(下条小)▼50mバタフライ①中林剛志40秒1(ACC)▼100m自由形①中林剛志1分18秒7▼100m平泳ぎ①岡伸哉1分35秒3(下条小) ②嶋倉涼③大橋群▼100mバタフライ①青野剛太1分28秒7(大会新・ACC)

▼200m個人メドレー①岡伸哉2分59秒4(大会新) ②青野剛太2分59秒7(大会新)▼200mリレー①加茂ACC・A2分29秒1 ②石川小学校

【小学生女子】▼50m自由形①浅野恵未29秒7(大会新・ACC) ②渡辺彩子(ACC) ③野村春乃(同)▼50m平泳ぎ①浅野恵未36秒1(大会新) ②野村春乃③横山天音(石川小)▼50m背泳ぎ①難波若那38秒7(ACC) ②相田美鈴(ACC)▼50mバタフライ①久保瑞稀34秒2(大会新・ACC) ②田口由重(ACC) ③中林祥子(ACC)▼100m自由形①相田美鈴1分12秒4 ②横山天音 ③小林あすか(石川小)▼100m平泳ぎ①小林真由1分30秒2(ACC) ②斉藤優里愛(加茂小)▼100m背泳ぎ①難波若那1分27秒1▼100mバタフライ①久保瑞稀1分19秒9(大会新) ②渡辺彩子▼200m個人メドレー①小林真由2分53秒0(大会新) ②斉藤優里愛▼2



百mリレー①加茂ACC・A2分7秒4(大会新) ②加茂ACC・B ③加茂ACC・C

【中学生男子】▼50m自由形①斧晃大28秒2(大会新・SP) ②渡辺健太(ACC)▼50m平泳ぎ①青野鉄平37秒3(大会新・ACC)▼50mバタフライ①小林潤31秒6(ACC)▼100m平泳ぎ①坂内貴洋1分16秒1(加茂中) ②小林潤③斧晃大▼100mバタフライ①難波尚弥1分9秒9(大会新・ACC) ②青野鉄平1分15秒1(大会新)▼200m自由形①渡辺健太2分22秒3▼200m個人メドレー①難波尚弥2分33秒8▼400mリレー①加茂ACC4分23秒7(大会新)

【中学生女子】▼50m自由形①相田春香29秒8(大会新・ACC)▼50m平泳ぎ①松田楓56秒9(大会新・葵中)▼50mバタフライ①浅野真由31秒6(大会新・ACC) ②石原知佳(ACC)▼100m自由形①相田春香1分6秒4(大会新) ②浅野真由1分7秒8(大会新)▼100mバタフライ①石原知佳1分22秒6(大会新)▼200m自由形①岡桃子2分36秒3(葵中)▼200m個人メドレー①岡桃子2分57秒8

(加茂農林) ②斧真季(SP) ③皆川裕子(フリー)▼女子50mバタフライ①斧真季36秒5 ②今井翼(ACC)▼女子100m自由形①小林千寿瑠1分10秒6 ②皆川裕子③今井翼▼男子200m個人メドレー①斧泰典2分45秒9

【壮年男子】▼50m自由形①田中隆一31秒8(ACC) ②斧滋夫(SP) ③斉藤敬(ACC)▼50m平泳ぎ①斉藤敬47秒9▼50m背泳ぎ①田中隆一44秒3 ②小林誠(フリー)

【最優秀選手賞】▼小学生女子・浅野恵未(ACC)▼小学生男子・岡伸哉(下条小)▼中学生女子・相田春香(ACC)▼中学生男子・難波尚弥(ACC)

【古川杯】▼浅野真由(ACC)



野球

期日 8月5・12・19日

会場 七谷・川西野球場

【中学生の部】

優勝 葵中学校

準優勝 七谷中学校

【一般の部】

優勝 ホワイト

【壮年の部】

優勝 後須田

準優勝 七谷ベアーズ

3位 番田野球クラブ・ホワイト

加茂文化会館 催しのご案内

企画・原案 磯村みどり
脚 本 青木邦夫
演出 白石弘明
音 伴 謙介

磯村みどり
外山 高士
伊藤 哲哉

草薙 仁
宮本 夕子
摩耶 聖子

山田かまぼこ
石橋 正高
佐藤 丈大

大橋 若枝
古川 かん
草薙幸二郎

いのちの華



制作 咲ブルーミング
制作協力 松竹サービステットワーク

11月10日(土) 加茂文化会館大ホール

午後2時開演 (開場 午後1時30分)

全席指定 S席 3,000円 (当日3,500円)

A席 2,000円 (当日2,500円)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

芸術文化振興基金助成事業



芸術文化振興基金の助成で、通常料金の約半額になっています。

お問い合わせ 加茂文化会館 ☎53-0842

あらすじ

むかしむかし、村の年寄りらは家を離れて「お山」へ行くしきたりがあり、とき（磯村みどり）もその歳になった。「お山」には、先にきていた年寄りたちが苦しくも肩を寄せ合って生きていたが、古老の知恵が聞けない村ではトラブル続き。そんなある日、ときは村に危機が迫っていることを知り…。

胃カメラが苦手な方に

お勧めします

数年前から関西、その後東京と、今までと異なった胃内視鏡検査である「鼻から入れる内視鏡検査」「経鼻胃内視鏡検査」を受ける人が増えてきています。

■特徴1 苦痛が少ない
使用する内視鏡は直径五・二ミリメートルと従来の三分の一以下

(面積比)の細さですので、鼻、のどなどに負担が少ない。

■特徴2 おう吐が起きにくい
内視鏡が舌のつけ根を通らず、しかもかなり細いので吐き気をほとんど感じずに検査を受けることができます。

■特徴3 会話ができる
検査中も会話が可能なため、質

問したいときには自由にお話できます。

◆経鼻胃内視鏡検査(鼻から入れる胃カメラ)の流れ

- ①前日の夕食後以降は水分のみにしてください。
- ②胃の中の泡をとる水薬を飲んでいただきます。
- ③鼻に麻酔のスプレーを数回行います。
- ④経鼻胃内視鏡検査を行います。

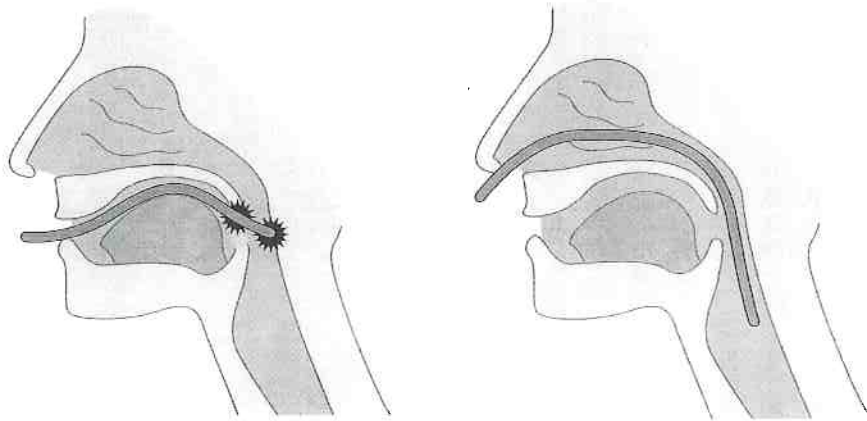
リラックスした状態で、鼻の奥を広げ、落ち着いて呼吸をします。息は止めないようにしましょう。これでだいぶ楽に検査を受けられます。

※検査の結果は、その場で分かります。生検(細胞を採る検査)をした場合は、その結果は後日となります。

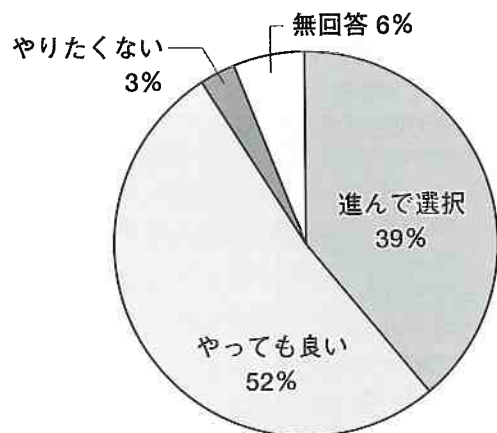
経鼻胃内視鏡検査

鼻から入れる胃カメラを受ける人が増えています！

・おう吐反射が起こりにくい。
・会話が可能。



初めて体験した人へ、次回はどうするか聞いた結果



いると報告されています。

まれに鼻腔が狭くて痛みがあり、挿入できない場合がありますが、その場合は口からの検査となります。もちろん極細内視鏡ですので、口からの内視鏡検査でもかなり苦痛は軽減されます。

胃のバリウムの検査に比べ内視鏡検査の方が二・五倍から三倍精度が高いといわれています。負担の少ない内視鏡検査を一年に一回は行い、手遅れにならないうちに胃がんを発見して、早期に治療しましょう。

(加茂市医師会)

アンケート結果では、ほとんど「おう吐反射」はなく、九〇%以上の方が、次回は従来の内視鏡検査より経鼻胃内視鏡検査を望んで

歌い継がれる 加茂松坂

加茂松坂の二つ太鼓の響きも、耳に懐かしく残っているこの頃である。

加茂を中心に歌い踊り継がれている民謡の代表が「加茂松坂」。夏には市民各層が参加する「越後加茂川夏祭り」で踊られて、花火大会とともに、祭りに欠かせない催しである。

この「加茂松坂」がいつ頃から歌い継がれているかということになると、いささか難しい。三百年前からとか、加茂が桑名藩預り地になった関係からとか、諸説あるようだが、筆者は未だ確実な根拠を持ち合わせていない。そんな中で、管見した史料で、加茂松坂の歌詞を記述したものがあつたので、百五十〜二百年近

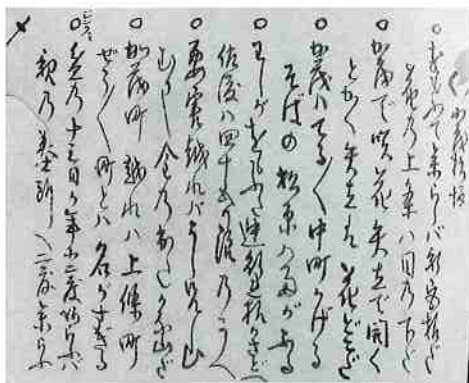
く前の加茂松坂の歌詞がどんなであったか紹介したい。

その一つが、幕末の地理学者で新発田藩領坂井新田名主でもあつた、小泉蒼軒が、天保九年（一八三八）に書いたとみられる「越志風俗部歌曲」という記録に「賀茂松坂」があり、次のような歌詞が出ています。

- ㊦かもの社の杉さへ見れハ すぎし昔がおもはるゝ
- ㊦なじよな竹にも七ふし八ふしかものお竹にふしがなひ
- ㊦要害こえて御城山 昔かねの出たかな山だ
- ㊦竹になりたや 護摩堂の竹に新潟女郎衆の らうとなる

加茂の風土記

安政3年（1856）の天神林・日野田丈左衛門「世話雑談集」にある加茂松坂の歌詞



この蒼軒の記述から十八年後の安政三年（一八五〇）三月、今度は加茂町に近い天神林村の日野田丈左衛門の「世話雑談集」という史料に「加茂松坂」として、今でも歌い継がれている歌詞の原形もみえる。

- ①をもふて参らバ 新宮様だ 花の上条ハ 目の下だ
 - ②加茂で咲花 矢立で開く とかく矢立は 花ごこた
 - ③加茂八てるく 中町かげろ そばの松原ハ 雨がふる
 - ④わしがをもふた迎 行れ様かさど へ佐渡八四十五里浪の上
 - ⑤要害越れバ うしろ山 むかし金の出た かな山だ
 - ⑥加茂町越れバ 上条町 ぜうく町とハ 名がすぎる
 - ⑦盆の十三日か 年に二度あらふバ 親の墓所へ二度参らふ
- 後者の②は現在の歌詞に近似しており、⑤は前者の三番目と二カ所違いで同趣である。前者の一番目は貴船神社近くの良寛歌碑と同文で、加茂松坂として、歌われていたことが蒼軒の収録で分かるが、これに節を付けて歌って、はるか昔の夏を偲んでは、いかがだろう。

（関 正平）



社会福祉費寄付金

▼平木イクさん（石川一）から 五万円

消防費寄付金

▼大湊陽輔さん（秋房）から一万円

社会福祉事業費として

▼赤谷育成会から

▼長浜会から 二万八千六百一円

▼コムモリスく市子ども代表団へ

▼加茂手まりの会から 二十万円

手まり二十六個

図書館へ

▼浅見恵さん（東京都新宿区）から

図書六十一冊、雑誌八十三冊

人口のうごき

8月1日現在	
世帯	10,041 (＋11)
人口	31,889 (＋5)
男	15,410 (＋4)
女	16,479 (＋1)
()内は前月比	
(7月異動分)	
出生	15 (男6女9)
死亡	20 (男10女10)
転出	31
転入	41